

RateMux C6920 からIP アドレスを取得して変更する方法

内容

[概要](#)

[はじめに](#)

[表記法](#)

[前提条件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[RateMux に接続する方法](#)

[ハイパーターミナルを使用する接続手順](#)

[connect.exeプログラムを使用した接続手順](#)

[RateMux からIP アドレスを検索する方法](#)

[RateMux のパワーPCカードのIP アドレスを変更する方法](#)

[関連情報](#)

概要

このドキュメントでは、Cisco 6920 RateMux の IP アドレスを取得または変更する方法について説明します。

注：このドキュメントの情報は、Cisco RateMuxバージョン2.5に基づいています。RateMux 6920の詳細については、[データシート – Cisco 6920 RateMUX Advanced MPEG-2マルチプレクスを参照してください](#)。

注：Cisco RateMuxバージョン2.3以降、6920には固定IPアドレス10.0.0.200が付属しています。これは、Ciscoルータの初期設定を容易にするためです。古いバージョンを実行している場合は、このドキュメントで「[RateMuxからIPアドレスを取得する方法](#)」について説明します。

[はじめに](#)

[表記法](#)

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコ テクニカル ティップスの表記法](#)』を参照してください。

[前提条件](#)

この文書を読むには、次の知識が必要です。

- デジタルプログラミング
- サテライト受信機

- エンコーダ
- MPEG-2トランスポート
- 直交振幅変調(QAM)
- デジタルヘッドエンドインターフェイス(DHEI)
- Digital Video Broadcasting-Asynchronous Serial Interface(DVB-ASI)規格
- 選択的ビットレートの削減

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づくものです。

- PowerPCカード搭載Cisco RateMux 6920
- PCにソフトウェアconnect.exeまたはHyperTerminalがロードされました
- イーサネット クロスケーブル 1本

このマニュアルの情報は、特定のラボ環境に置かれたデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期（デフォルト）設定の状態から起動しています。実稼動中のネットワークで作業をしている場合、実際にコマンドを使用する前に、その潜在的な影響について理解しておく必要があります。

RateMux に接続する方法

PowerPCカードには、イーサネットポートとデバッグポートが1つあります。これら2つのポートを使用して、RateMuxにアクセスできます。次の図 1 を参照してください。

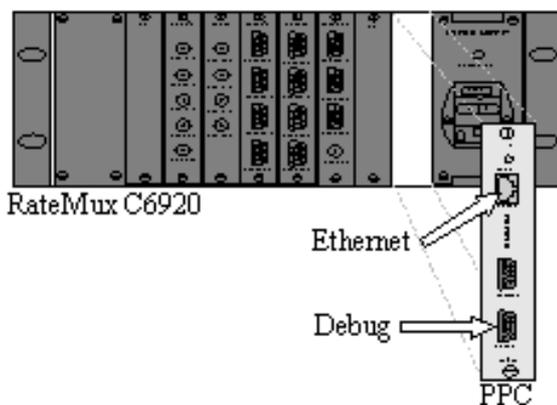


図 1 : Cisco RateMux 6920デジタルビデオのPowerPCカード

次の2つのセクションでは、HyperTerminalとconnect.exeプログラムの両方を使用してRateMuxに接続する方法について説明します。

ハイパーターミナルを使用する接続手順

HyperTerminalを使用してRateMuxに接続するには、次の手順に従います。

1. PowerPCカードのデバッグポートから、PCのシリアルポートにシリアルケーブルRS232を接続します。注：ターミナルポートは使用されません。

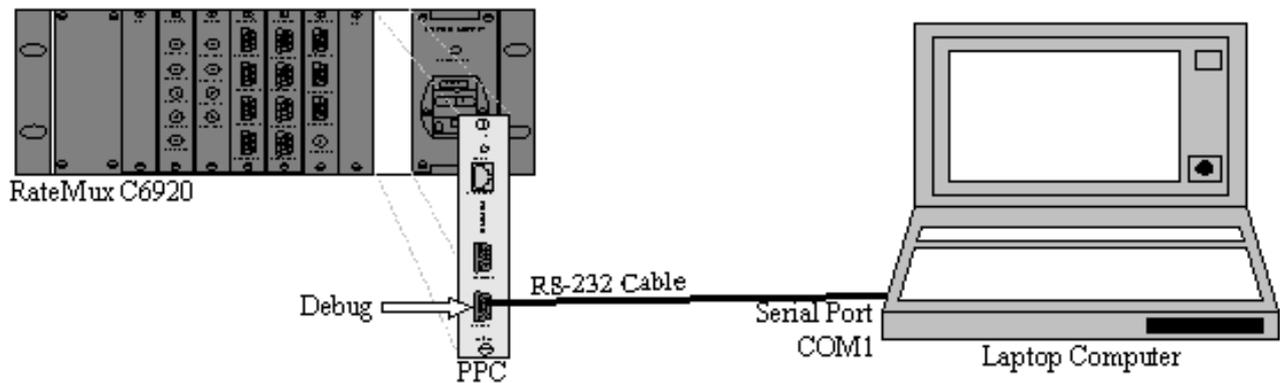


図 2 : HyperTerminalを使用した接続トポロジ

2. 次の設定を使用して、COM1でHyperTerminalセッションを開始します。ビット/秒=57600データビット=8パリティ=なしストップビット=1フロー制御：なし図3は、HyperTerminalの設定を示しています。

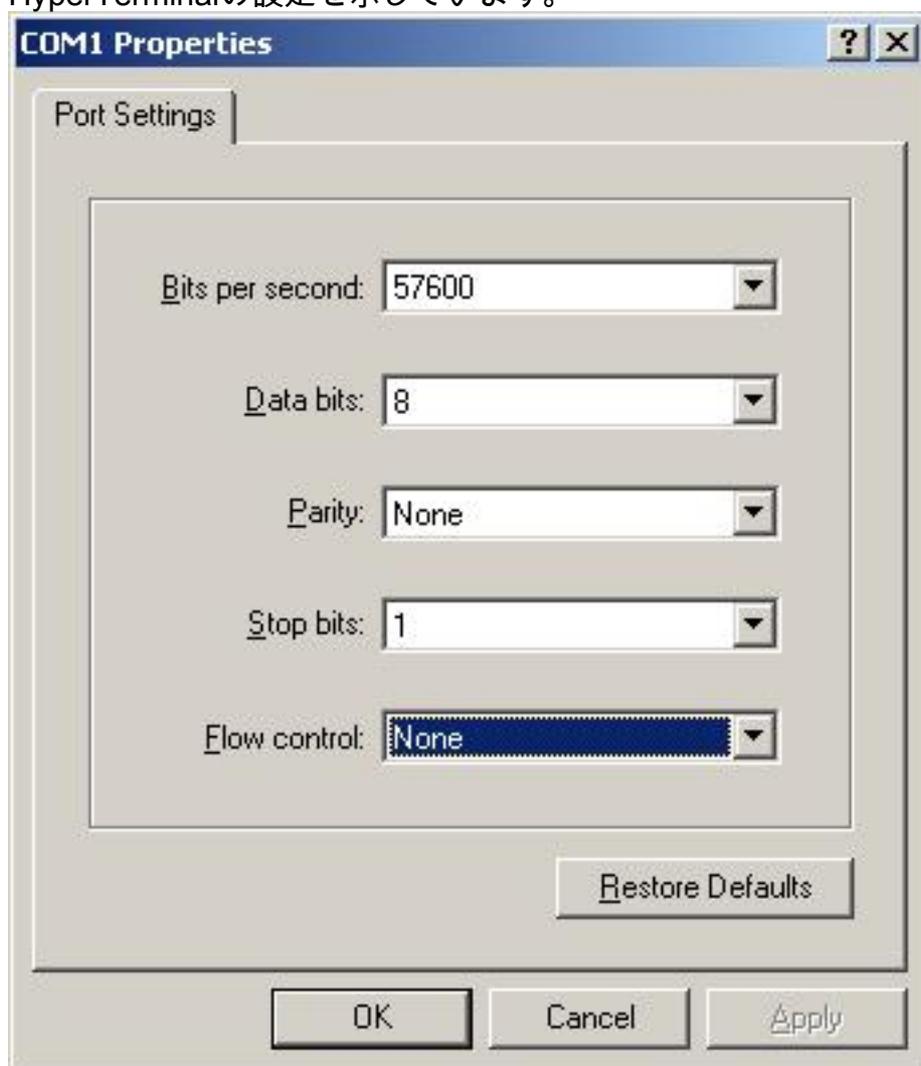
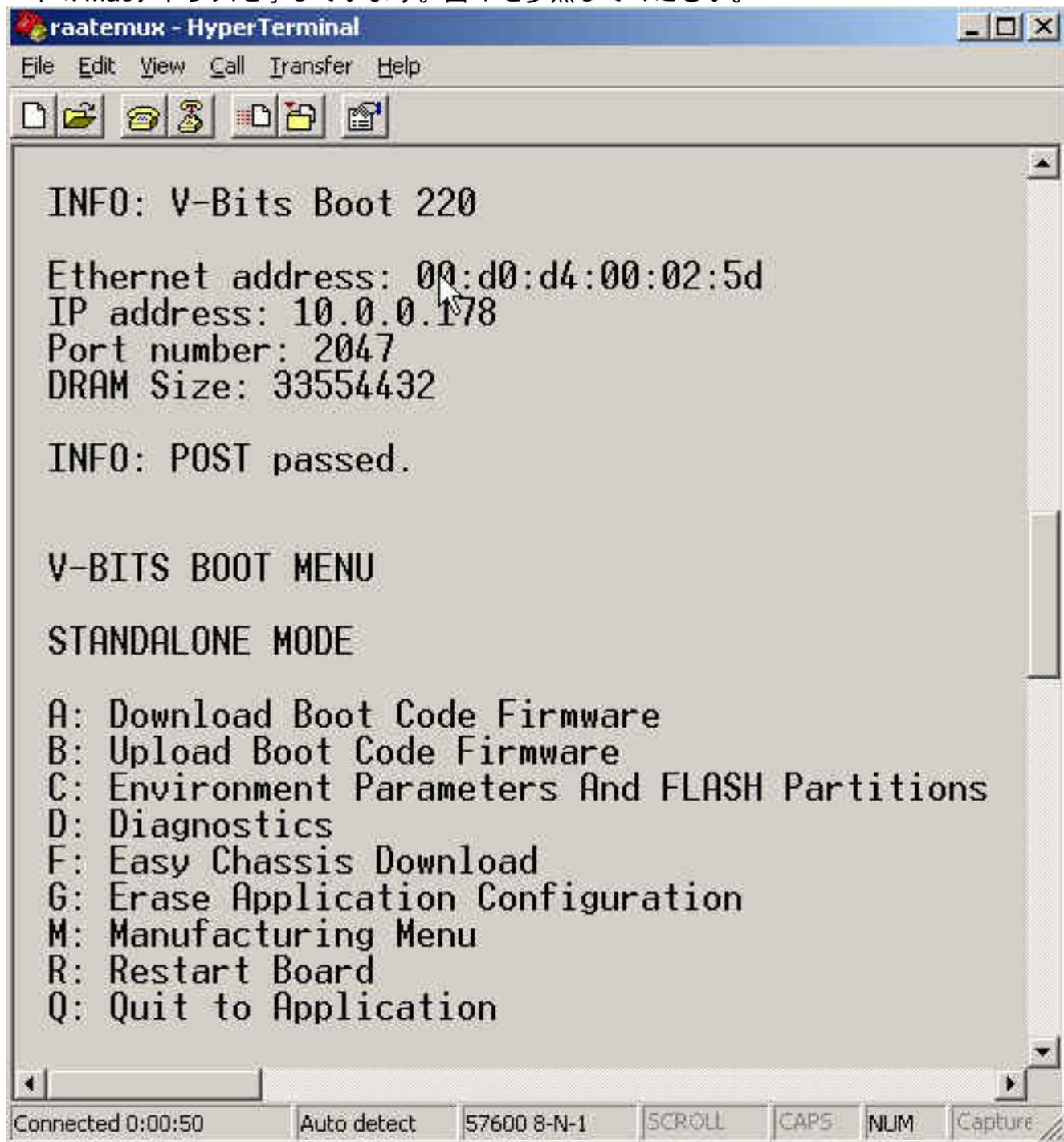


図 3 : RateMuxに接続する

ためのHyperTerminalの設定

3. RateMuxの電源をオフにします。
4. HyperTerminalを起動します。
5. HyperTerminalのメニューバーから[Call]を選択します。
6. RateMuxの電源をオンにします。
7. RateMuxをオンにしてから10秒以内に、HyperTerminalの[Call]メニューから[Connect]を選択します。
8. HyperTerminal画面の開いているウィンドウでマウスカーソルをクリックします。
9. 接続が確立されるまで、1秒あたり約1回、[Enter]またはスペースバーをクリックします。最

初の数行は、BootLoaderリビジョン番号と、Cisco 6920で使用されているIPおよびイーサネットのMacアドレスを示しています。図 4 を参照してください。



```
raatemux - HyperTerminal
File Edit View Call Transfer Help

INFO: V-Bits Boot 220

Ethernet address: 00:d0:d4:00:02:5d
IP address: 10.0.0.178
Port number: 2047
DRAM Size: 33554432

INFO: POST passed.

V-BITS BOOT MENU

STANDALONE MODE

A: Download Boot Code Firmware
B: Upload Boot Code Firmware
C: Environment Parameters And FLASH Partitions
D: Diagnostics
F: Easy Chassis Download
G: Erase Application Configuration
M: Manufacturing Menu
R: Restart Board
Q: Quit to Application

Connected 0:00:50 Auto detect 57600 8-N-1 SCROLL CAPS NUM Capture
```

図 4 : RateMuxの電源をオフ/オンした後、HyperTerminalに表示する

[connect.exeプログラムを使用した接続手順](#)

RateMuxにアクセスするもう1つの方法は、connect.exeプログラムを起動することです。このプログラムのショートカットをデスクトップまたはPCに置くことを推奨します。Connect.exeは、PCからイーサネット経由でRateMuxへの接続を確立します。これは、ネットワーク接続またはクロスイーサネットケーブルを使用して実現できます。図 5 を参照してください。

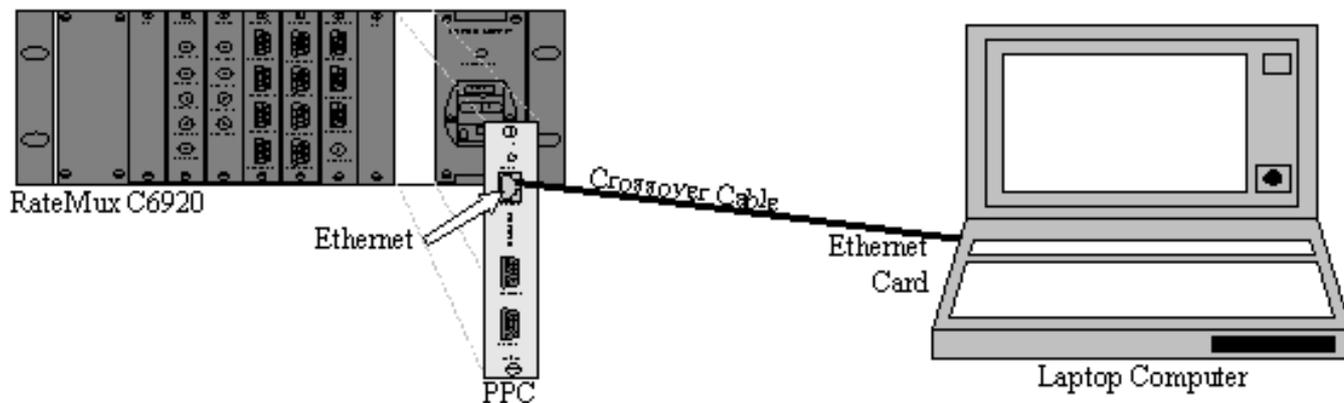


図 5：イーサネットポートとconnect.exeプログラムを使用した接続

注：クロススケールがない場合は、共通のハブに接続された2本のストレートケーブルを使用できません。

クロスケーブルまたはハブを使用している場合：

- PCのIPアドレスとRateMuxが同じサブネットにあることを確認します。
- PCに正しいゲートウェイが定義されていることを確認します。

そのためには、PCのTCP/IPプロパティを変更します。

物理的に接続したら、次の手順を使用して通信を確立します。

1. RateMuxの電源をオフにします。



2. アイコンをダブルクリックしてconnect.exeプログラムを起動します。
3. [接続]をクリックします。
4. [Connection]メニューの[Connect]をクリックし、RateMuxのIPアドレスを入力して[OK]をクリックします。
5. RateMuxの電源をオンにします。
6. 開いているウィンドウ上のカーソルをクリックし、接続が確立されるまでEnterキーまたはスペースバーを押します。図6は、接続が確立された後のconnect.exeウィンドウを示しています。

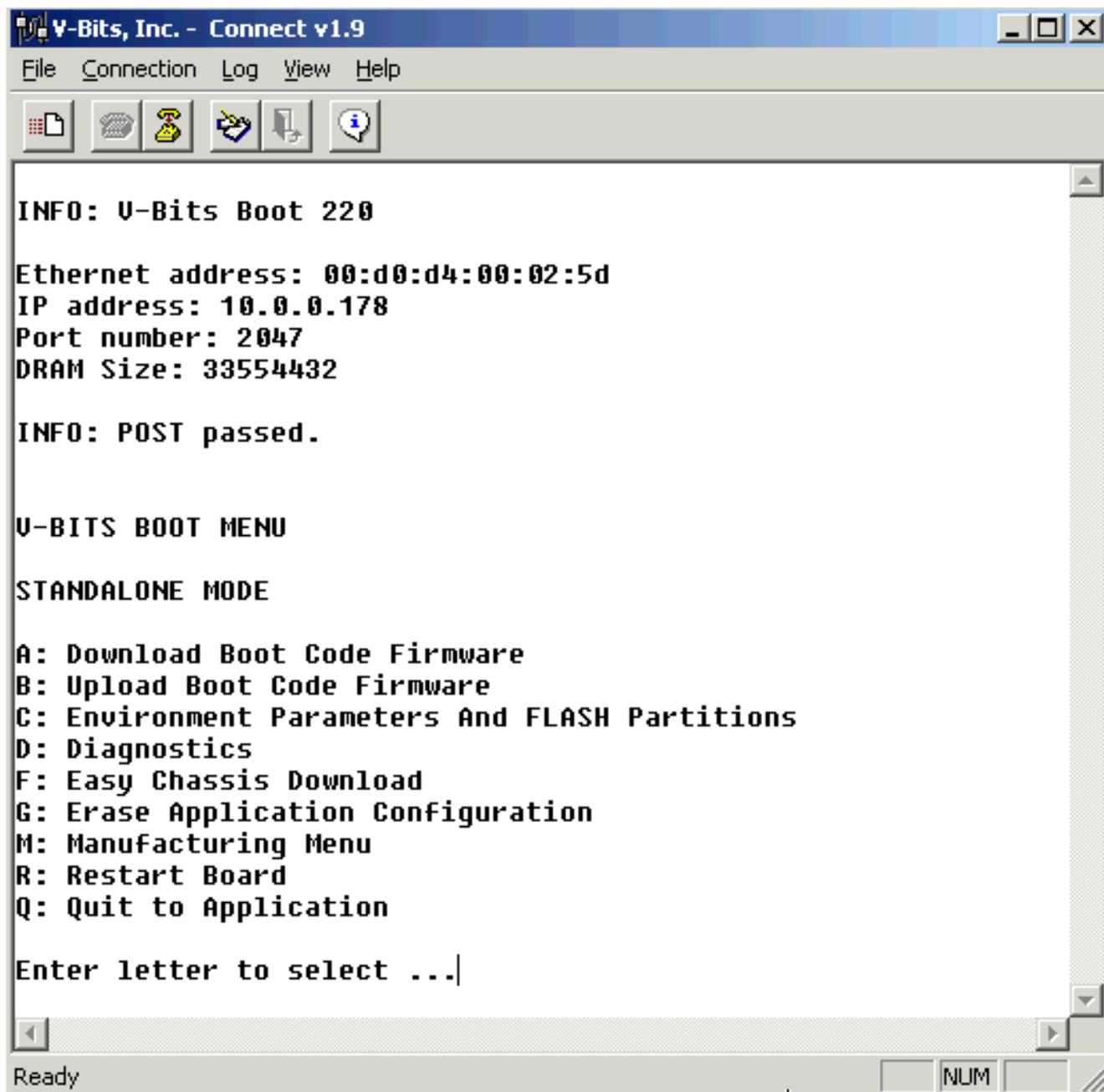


図 6 : RateMuxへの接続が確立された後のConnect.exeウィンドウ

[RateMux からIP アドレスを検索する方法](#)

通常、一意のIPアドレスがRateMux内のPowerPCモジュールに割り当てられます。指定されたIPアドレスはネットワーク10.0.0.0にあります。Webブラウザは、この事前に割り当てられたIPアドレスを使用して、Cisco 6920とだけ通信します。このIPアドレスは、Cisco 6920のラベルに印刷されます。

注：バージョン2.3以降では、RateMuxにはデフォルトのIPアドレス10.0.0.200が付いています。

Cisco 6920にIPアドレスラベルがない場合があります。IPアドレスを確認するには、次の手順に従います。

1. HyperTerminalの手順に従ってRateMuxに[接続](#)してください。
2. 接続が確立されると、出力の2行目にIPアドレスが表示されます。図4の例では、IPアドレスは10.0.0.178です。

RateMux のパワーPCカードのIP アドレスを変更する方法

ほとんどの場合、RateMuxにリモートでアクセスできることが望まれます。ただし、定義済みのアドレスがネットワークスキームに含まれていない可能性があります。通常、IPアドレスは10.0.0.0ネットワーク上に255.0.0.0とゲートウェイ10.0.0.1のマスクで表示されます。マスクは255.255.255.0、ゲートウェイは10.0.0.6も一般的です。

この場合、PowerPCカードのIPアドレスを変更することが望ましい。これは、HyperTerminalまたはconnect.exeを使用して実行できます。ただし、HyperTerminalの使用をお勧めします。connect.exeを使用する場合は、まずPCのTCP/IP設定をRateMuxと同じサブネット上に設定する必要があることに注意してください。このIPアドレスを変更する場合は、接続を取得するためにもう一度PCのTCP/IP設定を行う必要があります。

1. HyperTerminal手順を使用してRateMuxに [接続します](#)。
2. 接続が確立されると、[図4](#)のようなメニューが表示されます。メニューから次の3つのオプションの順序を選択します。C:環境パラメータとフラッシュパーティション。選択B:環境設定。選択B:環境パラメータを変更します。
3. この後、いくつかの異なるパラメータを入力するように求められます。変更する必要があるのは、次のいずれかだけです。ゲートウェイNETMASKIPADDRその他のパラメータについては、Enterキーを押します。この例では、次のように変更します。172.22.86.1へのゲートウェイ255.255.254.0へのNETMASKIPADDRから172.22.87.6
4. タイプS:環境パラメータをフラッシュに保存し、設定を保存します。
5. タイプA:RateMuxの設定を表示するために使用される現在の設定を表示するには、[Environment Parameters]をリストします。

関連情報

- [重要なお知らせ : ハングする Cisco 6920 RateMux PowerPC カード](#)
- [データシート – Cisco 6920 RateMux Advanced MPEG-2マルチプレクサ](#)